

「秋冬に行う身近な木の手入れ方法」開催レポート

令和4年12月6日（ベルmont公園）、7日（生物園）

講習

「講義」では、①剪定方法（自然樹形を意識しながら徒長枝や並行枝などの不要な枝を切る）②肥料（来春の生育を良くするため緩効性の有機肥料を施す）③害虫防除（越冬害虫に有効なマシン油を噴霧する）などを学びました。

「実習」では、講師の手本を見学後、剪定バサミを使っの剪定作業を体験しました。

＜実習の様子＞



ベルmont公園では、樹形を意識して外芽の位置で切るように指導を受けながら「フヨウ」の剪定をしました。



生物園では、「ベニバナトキワマンサク」の生け垣を高さ気に気を付けながら剪定しました。



とても実践的だし、質問にも分かりやすく答えていただいた。

（50代 初参加）

今まで適当に剪定して花が咲かなくなったので、勉強になりました。

（50代 初参加）

参加者の声

＜講義の様子＞



秋冬に行う剪定、肥料（寒肥）の施し方、害虫防除等の手入れ方法について学びました（ベルmont公園「陳列館」にて）



不要な枝の切り方や樹形の整え方について、実物のシラカシの枝を使って実演していただい学びました。（生物園「会議室」にて）



講師 岸本 昭雄先生

「1級造園施工管理技士」、「樹木医」としても活躍する造園技術者。造園工事や樹木等の維持管理委託業務に携わっており、平成28年頃から足立区での「剪定講習会」等の講師を務める。